

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

ヒトの進化を共創する。RPA、AI等のオートメーション技術の社会実装を推進し、少子高齢化と労働生産人口減少の課題解決を目指す。

売上高
8,500百万円

営業利益
960百万円

② 中長期の経営戦略

1. インテリジェント事業強化

「BizRobo!」「AUTORO」のユーザー数拡大とアップセル、「Robo Robo」の無料から有料ユーザーへの転換を推進。

2. アドオートメーション事業拡大

3,000億円超の国内アフィリエイト広告市場で取扱高・取扱シェアを拡大。未参入分野への新規参入を進める。

3. 事業基盤強化

最先端のRPA、AI技術の発掘・開発を継続。ライセンス調達、資本業務提携による戦略投資を積極実施。

4. 新規事業創造

培ったオートメーション技術を活用し、新たなサービス・事業の開発・運用を推進。

③ 対処すべき課題

① 事業基盤の強化

- ・ 日進月歩のRPA、AI技術の最先端化に対応し続ける必要
- ・ オートメーション技術を活用したビジネス領域の継続的拡大

② 人材の強化

- ・ ミッション・ビジョンに共鳴する人材の獲得
- ・ 持続的成長を支える人材育成の強化

③ 内部管理体制の強化

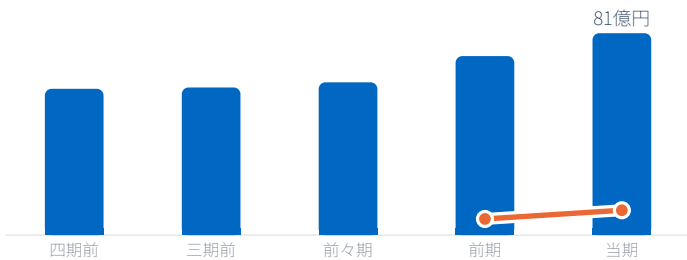
- ・ 内部統制の実効性向上とコーポレート・ガバナンス充実
- ・ リスク管理の徹底

面接で使えるポイント

- ・ 2060年に国民の約2.5人に1人が65歳以上の超高齢化社会に対し、RPA・AI技術で課題解決する企業
- ・ 3,000億円超のアフィリエイト広告市場でシェア拡大を目指すオートメーション企業
- ・ 2026年2月期に売上高8,500百万円、営業利益960百万円を目標に推進する成長戦略

証券コード 6572

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高 81億円	営業利益率 12.3%	財務健康度 55点 / 100点
---------------	----------------	---------------------

将来性 晴れ / 就活偏差値 60.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,032万円

サービス業内 21位/524社

平均年齢

39.1歳

サービス業内 244位/527社

平均勤続

3.6年

サービス業内 432位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

オープングループ株式会社のビジネス内容

...

主力事業・セグメント

- ・ Intelligent自動化 81.1%
- ・ Ad自動化 18.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率12.3%の安定した収益性
- ・ 将来性評価は晴れ
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: オープンが「不動産DX EXPO 2026 春 大阪」に出展

